

能登棚田米通信 Vol.14 H27.7.14

◎「能登棚田米」トピックス

(1) 7月4日～5日にかけて、能登棚田米生産者部会のメンバーが新潟県佐渡市を訪れ、生物多様性の保全と農業収益の向上を目指す「朱鷺と暮らす郷認証米制度」について学びました。7月24日にはJA佐渡荘青年部の皆様が能登を訪れ、JA担当者との意見交換が予定されています。

(2) 7月11日、珠洲市真浦地区において学生ボランティア団体「能登ラボ」のメンバー14名が、イノシシ被害防止のため、電気柵の設置作業に汗を流しました。昼食にはJAすずし女性部のご協力により、珠洲の塩おにぎりと地元野菜の天ぷら、もずくの味噌汁をいただき、集落との交流を深めました。



第2回棚田保全活動（於：珠洲市真浦）

(3) 7月13日に開催された「第4回能登棚田保全活動協議会総会」において、役員改選が行われ、新たに協議会長にJAおおぞら山崎一盛組合長が選任されました。

副会長 表野悦夫（JAすずし組合長）

監事 中谷内信春（JA町野町組合長） 中谷伸夫（JA内浦町組合長）

◎能登棚田米生産者部会現地研修会の開催について

日時 平成27年7月22日（水）10：00～12：00

場所 輪島市役所町野支所 町野町粟蔵川原田22番地1 TEL 0768-32-0001

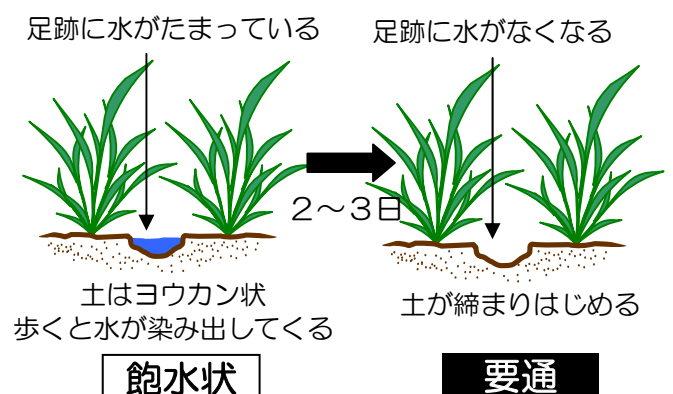
内容 米の食味について「能登棚田米」の評価 他

現地検討：生育状況の確認と今後の管理（輪島市町野町金蔵）

◎ 栽培管理・技術情報

(1) 現在、コシヒカリは幼穂形成期を迎えていますので、中干しを終了し、間断通水に切り替え、飽水管理を行ってください。

※飽水管理とはほ場表面に水はないが、足を踏み入れると水が染み出てくるような水分状態を維持する水管理です（図参照）。



飽水状

要通

(2) **重要**：斑点米カメムシ類の防除には昨年度まで使用していた「スタークル粉剤DL」、「スタークル液剤10」、「スタークル豆つぶ」は使用できません。昨年度の在庫がある方は、使用しないように注意してください。防除については「能登棚田米」特別栽培指針を遵守してください。

(3) 原則、追肥は行いませんが、生育不良により減収や品質低下が懸念される方は、「BB能登みのり」等有機質肥料の追肥の可能性もありますので施用を検討される方は、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。